



碧南ロータリークラブ週報

第2704回例会 平成26年9月24日(水)

- 会長 石橋 嘉彦
- 幹事 伊藤 正幸
- 会場監督(SAA) 清澤 聡之

2014-2015 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp

- 会報委員 奥津順司・藤関孝典・吉武敏彦



●齊 唱

ロータリーソング「ロータリー讃歌」

●本日のメニュー

秋のお弁当 小伴天

●本日のお客様

刀剣研究家 杉浦良幸様

米山記念奨学生 マルティネス リベラ, リリアナ様

会 長 挨 拶

暑さ寒さも彼岸までとあり、今お彼岸であります。夏の暑さに比べると一気に涼しくなったかなと感じます。

9月19日でございますが、市民総合体育大会の開会式に行きまして。スポーツの秋と言うように、このようなイベントが開催されるのも日本の習慣かなと思います。東京オリンピックの影響もあって大変盛り上がった開会式だったと感じました。

また、本日例会におきましては、杉浦様より「刀剣について」お話頂きます。日本刀は世界に類を見ない刃物でございます。本日は色々勉強する機会かなと思います。

皆様にご協力頂きました、広島豪雨災害の義援金につきまして、皆様よりご好意を頂きましたので、地区を通じまして広島へ送りたいと思います。



石橋嘉彦会長

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。6点ほどございます。



伊藤正幸幹事

- ・ 例会変更等につきましては、幹事報告書の通りでございますので、よろしくお願い致します。
- ・ ロータリー希望の風奨学金支援のお礼状が、ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会より届いております。第3回理事会にてご承認頂きましたが、災害義援金より6万9千円を送付致しました。
- ・ 碧南高浜防犯協会連合会より、秋の安全なまちづくり県民運動の実施についての案内が届いております。
- ・ 碧南市芸術文化ホールより、「Beaujolais Jazz Night 碓井雅史カルテット×本格フレンチビュッフェ」特別先行予約の案内が届いております。11月21日の金曜日の午後5時開演でございます。場所は、碧南市芸術文化ホールのシアターサウスでございます。お一人様、通常価格2,800円のところ、2,500円の特別価格で、卓越されたジャズを聞きながらの本格フレンチビュッフェです。また、新美雅浩様お墨付きの、人柄の良い碓井さんという事でございます。90名限定という事ですので、奮ってご応募頂きたいと思えます。ご希望の方は、10月1日の水曜日までに事務局までお知らせ下さい。案内チラシを受付にて掲載してございますので、よろしくお願い致します。
- ・ 先週、先々週の2週に渡りご協力頂きました、広島豪雨災害の義援金につきまして、6万553円の募金となりました。本日、ガバナー事務所へ送金させていただきます。
- ・ 次週、10月1日例会終了後、201号室にて第4回理事会を開催致しますので、理事、役員の皆様はご出席下さい。

委員会報告

<出席奨励委員会>

総会員数 69 名 (内出席免除者 17 名の内出席者 14 名)出席者 54 名	
出席対象者 60/66 名	出席率 90.91%
欠席者 9 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

- 伊藤 正幸君 日曜日に妻と、新南愛知カントリークラブで、さくらちゃん、ももちゃんを近くにみながらデートして来ました。
- 長田 昌昇君 講師 杉浦良幸君をご紹介させていただきます。
- 加藤 良邦君 平成26年秋彼岸行事、お陰様にて晴天に恵まれ、前日の墓経共々無事に終える事が出来ました。深く感謝致します。
過日、榊原健さんに大変お世話になりました。
- 小笠原良治君 有志の善意の協力で、キリンラーメンの歌が出来ました。キリンラーメンで検索し、「キリンラーメンMV」で見て下さい。歌と動画でかわいくで

きています。キリンラーメン卓上カレンダーが限定品として登場しました。手に入りにくいと思いますが、話題として覚えておいて下さい。週末には藤関君にお世話になります。ありがとうございます。

- 新美 宗和君 9月28日(日)碧南市文化会館において、第31回「歌と舞の祭典」を開催します。たぶん、お知り合いの方も出演されますよ。応援して下さい。
- 鶴田 光久君 碧南鉄工会コンペ開催で、平松太さんにお世話になりました。
- 清澤 聡之君 先日は、会員のみなさまをはじめ、親睦活動委員会のみなさまに大変お世話になりました。
- 黒田 泰弘君 たいへんためになるセミナーに参加させて頂きました。鈴木きよみさんには大変お世話になりました。

卓 話

「刀剣について」

刀剣研究家 杉浦良幸様



杉浦良幸様

ご丁寧にご紹介頂き、ありがとうございます。

私は、30歳頃まで碧南におりまして、その後仕事の都合で岐阜の可児市に30年弱住んでおりました。家内の実家が安城の東端で、縁がありましてそちらで暮らしております。

いつの間にか刀をいじっており、30年ほど経ちます。刀をいじる人は非常に少ないです。1,000人いても、2、3人ぐらいでしょうか。

本日は刀のお話を30分でという事ですが、細かいお話をしても分からないと思いますので、かなり有名な刀鍛冶の何を何人かご紹介したいと思います。

正宗とか虎徹という言葉は聞いた事があるかと思います。源清麿は、幕末の新撰組組長、近藤勇がもっていったと言われておりますが、全くの嘘でございます。

話は飛びますが、刀で有名なドイツのゾーリングゲンがあります。第二次世界大戦中、日独伊三国同盟がありまして、ドイツの人が日本刀の鉄に興味を示し、当時の科学を駆使し、作ってみようという事になりました。詳細に解析しやってみたのですが、結果できなかったそうです。当時の超一級の技術で日本刀を再現しようと試みたのですが、出来ませんでした。

刀は平安末期から現在の刀の形になりまして、約1,000年の歴史がございます。機能的には人を切る以外、何の機能も持ちません。戦がなければ全く用がございません。この間に色々な戦がありましたが、全てに使われてきました。一般の人は分からないと思いますが、我々は5mほど先でもいつの時代に作られたかが分かります。姿が鑑定家の一番の抑えどころになります。これは、色々な戦を経験する中で段々使い勝手のいいものが要求されてきます。要するに、大きな戦がありますとその次の世代で刀の姿が変わるのです。

源清麿の話に戻りますが、約200年前に信州の小諸で生まれました。豪族に生まれて刀が好きで勉強して刀鍛冶になったそうです。この人の作品が大変高いのですが、40半ばで

自殺してしまいます。数そのものがないので、値段が高いのです。

この鍛冶屋さんは、昭和10年ぐらいまで見向きもされませんでした。明治9年に廃刀令が出まして、軍人と警察以外は刀を所持してはいかん、となりました。しかし、刀が美しいので、収集した人がいます。この時代は古い時代の刀が好まれました。

刀研ぎで人間国宝の藤代松雄さんのお兄さんが、清磨の刀の良さを見つけ、そこから価値が上がりました。戦後バブル時代では一振り3,000万~5,000万円ぐらいしておりましたが、現在ではその3分の1程度になっております。近藤勇と同じ時代にできた刀ですので、彼がこの刀を持つのはありえないので、これは作り話だと思います。

近藤勇が虎徹を持ったという話もあります。虎徹の作品は確かに良いものです。幕末の時に資料によりますと、虎徹は20両~30両ぐらいしておりました。だいたい1両10万円ほどです。そんなに高い刀を財力は彼にはなかったと思います。

近藤勇と行動を共にした事のある人の資料によりますと、確かに虎徹を持っていたとありますが、銘がなかったそうです。刀というのは、持つ部分の中に作った人の銘(名前)が基本的に刻んであります。江戸時代に作られた刀が無銘という事はありませんので、近藤勇が虎徹も持ったという事もありえないという事になります。

全く刀に関心のない方も正宗といえ、聞いた事があると思います。現在も、国宝に指定されている刀剣、の約5分の1が正宗です。しかも、全てが無銘なので、個人的な感想も入りますが、高い確立で本当に正宗の作品がどうかは疑問です。

また虎徹についてです。本来は、鎧を作っていたと言われております。50歳過ぎで江戸に出て行き、刀を作り出したそうです。専門家が見ましても地金が本当にキレイで、いい作品です。話は変わりますが、日本刀は純鉄です。ほとんど不純物が入っておりません。じゃあ純鉄を作れば刀を作れるじゃないか、となりますが、そうではございません。地金から醸し出される雰囲気と言いますか、炭火の中で折り返してトンテンカンしないとあのような地金は作れない、というのが現在の結論でございます。

今、日本の工芸美術品は、焼き物、漆製品、絵画などたくさんあります。現在の人の力によってほとんどの物は復元されております。ところが刀だけはまだ出来ておりません。姿は似たように見えますが、地金は全く違います。地金を作る工程が解明されておられませんので、現在では作れません。

冒頭でも申し上げましたが、刀というのは人切り包丁です。如何に相手を先に倒すかなのです。言い換えますと、全く無駄がありません。機能の良いもの、例えば車や新幹線などは見ていて美しいと思います。刀も色々な機能を一切取り払った結果、あの形になっております。実に見ていて気持ちがいいです。

資料にあります、村正の話は全く出来ませんでした。またの機会でお話させて頂ければと思います。

本日はありがとうございました。

次回例会案内

平成26年10月8日（水）

卓話「語りべが伝える日本の心」

語りべふみの会 代表 田中ふみえ氏